

実施計画事業名		産業連携推進事業			評価対象年度	平成 22 年度			
評価担当部署		建設産業部 水産商工課			課長(主幹)名	畑 均			
総合計画体系	分野	5	産業振興						
	政策	3	地域経済を支える未来の芽を育成						
	施策	2	地域特性を活かした新産業を創出します						
	関連施策								
現状と課題	景気の低迷が続く中で、建設業などに大きく依存してきた本市の経済は、厳しい状況に置かれている。また、近年の社会情勢や生活環境の変化に伴い、市民の価値観やライフスタイルが多様化しており、福祉や医療・教育など様々な分野において、地域が抱える課題を解決するコミュニティビジネスが注目を浴びている。今後は、産業クラスターへの支援とともに、異業種への転換や異業種間の連携、企業・創業に対する新たな支援策が必要である。								
目的	経済環境の変化に柔軟に対応できる産業構造をつくり、地域経済の活性化を図る。								
5ヶ年展開の	①起業・創業意欲のある者への支援…起業に関するセミナーの開催、専門家による相談機会の提供、チャレンジショップなどにより、意欲やアイデアのある市民の起業を支援する。②コミュニティビジネスの振興…生活関連サービスに対する市民のニーズやサービス事業者の動向などを把握し、生活関連サービス・新規雇用の創出へとつなげる。③産業クラスター事業の推進 ④農林水産業の6次産業化、建設業の新分野進出・複業化支援								
成果指標	名称		単位			21 年度	22 年度	25 年度	
	コミュニティビジネス、ソーシャルビジネスの実施件数		件		目標	0	1	3	
説明	意欲ある市民が新たに起業・創業する件数				実績	0	3		
活動指標	名称		単位			21 年度	22 年度	25 年度	
	起業に関するセミナーの開催回数		回		目標	1	2	2	
	説明					実績	0	0	
	コミュニティビジネス創出のための事業実施回数		回		目標	1	2	3	
	説明	市が主催もしくは共催等により開催したセミナーや相談会等の開催回数				実績	1	1	
					目標	-	-	-	
	説明					実績			
					目標	-	-	-	
説明					実績				
事業費の実績		単位	21 年度 (決算)	22 年度 (評価年度決算見込)	23 年度 (予算)	備考			
	直接事業費(A)		千円	550,231	575,287	580,668			
	国庫支出金		千円	0	0	0			
	道支出金		千円	0	0	0			
	起債		千円	0	0	0			
	その他		千円	511,113	535,586	535,000			
	一般財源		千円	39,118	39,701	45,668			
	この事業にかかる職員数		人/年	0.85	0.80	0.80			
人件費(B)		千円	5,887	5,433	5,433				
計(A+B)		千円	556,118	580,720	586,101				
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化								

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<b>a</b> a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する> 産業クラスター研究会としての新たな取組みはできなかったが、国費事業(地域ICT広域連携利活用事業)を活用して、建設関係会社などが農業分野に参入して生産に取り組んでいる「勇知いも」などのブランド化に向けた取組を支援(誕生のストーリー、生産現場の声、販売の様子などを映像化して全国に発信)した。さらに、行政と民間企業などによる「地産地消研究会」において、勇知いもの雪氷保存の研究と勇知いもを使ったスイーツの試作品づくりを開始した。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
コスト効率	<b>a</b> a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総合評価	<b>A</b> 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 本市の優れた一次産品にいかにか付加価値をつけ、高次加工など新製品づくりに波及させていくか、またいかに情報を発信していくか、更に生産から販売までのストーリー化し、消費者の関心を惹きつけるかなど、「売れるものづくり」「誘客」の視点からトータルな戦略づくりが必要である。物産振興、ブランド創出と連動する形で事業展開を図り、6次産業化を推進するとともに、農商工連携や産業クラスターなどとの連携強化が課題である。

【2次評価】

成 果	<b>a</b>	細事業の構成	<b>a</b>	細事業の進め方	<b>a</b>	コスト効率	<b>a</b>
総合評価	<b>A</b> 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--